

第11回社会貢献型インターンシップ
「クラダシチャレンジ」in 高知県北川村



Agenda

#01

クラダシチャレンジとは

#02

6日間のスケジュール

#03

記録(SNS発信)

#04

参加者の声

#05

クラダシチャレンジ 家族版

#06

事後報告会

#07

総括

#1. クラダシチャレンジとは

社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

地方創生やフードロス問題に興味がある学生が、人手不足に悩む地方農家での農業支援を通し、地域課題やフードロスなどの社会課題について考える、社会貢献型インターンシップです。参加学生の旅費・交通費や現地での滞在費、食費等は、地域経済の活性化と社会発展に寄与するために設立した「クラダシ基金」から支援しています。

クラダシチャレンジ実施の目的

活動中：未収穫品から新たな収益を生み出し、経済面で地方・農家を支えます。さらに、学生の派遣により町に活気をもたらし、地域の魅力をSNS等で発信することでさらなる発展のパワーに繋がります。

活動後：学生が自治体や農家の方1人1人の温かみに触れ、地方・農業の魅力を体感することで、将来のキャリア選択を通して地域に貢献しようという意識が芽生えます。



#1. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは クラダシ基金の概要

“もったいない”を価値へ



クラダシ基金： 地方創生

人手不足で収穫できない農家に学生をインターンシップとして送ることで、一次産品の未収穫廃棄物をレスキュー。収穫できた農作物をKURADASHIで販売し、支援金が増えることで人手不足による未収穫によるロスにさらに減らすことができるエコシステム。
クラダシチャレンジは、鹿児島県の種子島と与輪島、香川県の小豆島と高知県北川村、鹿児島県の西之表市、北海道の仁木町にて計8回実施。

得られるメリット

- ・ 地方労働力の提供
クラダシチャレンジ（インターン）により学生派遣
- ・ 学生の食育や
フードロスの削減
フードロス削減に意欲の高い学生の
食育・体験
- ・ 収穫商品の再流通
学生の収穫した商品をKURADASHIで
流通（農家の収益増加）



クラダシ基金とは

クラダシ自らが社会貢献活動を行うために
創設した基金です。

社会貢献型ショッピングサイト
「KURADASHI」上における一般消費者からの
寄付先の1つです。

地域経済の活性化と社会発展に寄与する
ための社会貢献型インターンシップ「クラダ
シチャレンジ」に掛かる、旅費、滞在費、食
費等は全てクラダシ基金より拠出していま
す。

▼参考URL

クラダシ基金について

: <https://www.kuradashi.jp/fund>

#クラダシチャレンジ in 高知県北川村



①未収穫作物の収穫による新たな収益の獲得

地方では、農業人口の高齢化・労働者人口の不足によって、未収穫作物が増加しています。北川村で生産されているゆずの収穫は、1つずつ手作業で行われるため、時間と人手が必要です。収穫作業の必要な時期に学生を派遣することで、**未収穫による一次産品のフードロスが解決される**と同時に、農家さんは新たな収益を獲得することができます。

②地方の関係人口の増加に貢献、若者を呼び地域振興に

地元の方から見たら当たり前の風景でも、都心にいる学生から見ればとても価値のあるものに見え、**地元の商品や土地に誇り**を持つことができます。そして、SNS等を利用して地方の魅力を発信することで、**地方の関係人口の増加を図ることができます**。



③地元の特産品の購買促進に

北川村は、ゆずの名産地であることに加え、同郷出身の中岡慎太郎記念館や、フランス公式から認められた「モネの庭」など様々な見所があります。そのような素晴らしい魅力を、活動を通してPRすることで、**購買促進・観光客の増加**を図ることができます。



第11回社会貢献型インターンシップ 「クラダシチャレンジ」in 高知県北川村 (学生版)

- 活動内容: ①高知県北川村の農家にてゆずを収穫
 - ②販売用ゆずの選別・箱詰め作業
 - ③SNS等を利用した地方の魅力発信
 - ④社会貢献型ショッピングサイト「KURADASHI」でのゆずの販売
- 開催期間: 2021年12月1日～12月6日
- 参加人数: 6人
- 実施企業: 株式会社クラダシ (クラダシ基金にて運営)



#1. クラダシチャレンジとは

高知県北川村クラダシチャレンジの概要

“もったいない”を価値へ



【北川村 とは】



©Shogakukan 作図／小学館クリエイティブ

高知県の東部に位置する 町で、人口は1,230人(2021年調べ)です。

古くから日本有数のゆずの産地として知られています。
四国有数の泉質を誇る「北川村温泉」や「モネの庭」などの観光地があります。



2020年11月19日に株式会社クラダシは、北川村と「食品ロス削減を通じた食育推進に向けた連携協定」を締結いたしました。

村民及び村内事業者に向けた普及啓発活動を行い、合わせて食育の充実を目的に協働することに合意しています。

▼連携協定について詳しくはこちら

<https://corp.kuradashi.jp/news/20-11-19/>



#2. 6日間のスケジュール

6日間のスケジュール①(Day1-3)

Day1

11:30 高知龍馬空港集結
12:00 レンタカーを借りて北川村へ出発
13:00 昼食
14:30 北川村に到着
15:00 ゆず農園見学
17:00 古民家到着
18:00 北川村温泉
19:30 夕食

Day2

6:30 起床
7:30 古民家出発
8:30 ゆず収穫@北川土佐農園
11:30 交流授業@北川中学校
13:00 昼食
14:00 中学生とゆず収穫@北川土佐農園
15:00 意見交流会(村長・副村長)
18:30 北川村温泉
20:00 夕食

Day3

7:30 起床
8:00 古民家出発
9:00 ゆず収穫@北川土佐農園
13:00 収穫終了
14:00 昼食
~18:00 北川村観光
18:30 北川村温泉
20:00 夕食



6日間のスケジュール①(Day4-6)

Day4

7:00 起床
 8:00 古民家出発
 9:00 ゆず選果@北川土佐農園
 12:00 午前の作業終了
 13:00 昼食
 13:00 ゆず選果
 16:00 午後の作業終了
 18:30 北川村温泉
 19:00 歓迎会@岡野さん宅

Day5

7:30 起床
 8:30 古民家出発
 9:20 ゆず収穫&選果作業@北川土佐農園
 12:00 ゆず収穫終了
 13:00 昼食 @いごっそらーめん
 ~18:00 北川村観光 @モネの庭
 18:30 北川村温泉
 20:00 夕食

Day6

7:30 起床
 8:30 古民家出発
 9:20 ゆず選果&梱包作業@北川土佐農園
 12:00 作業終了
 13:00 昼食
 15:00~帰路



#3. 記録・SNS発信



▶ゆず収穫

黙々とゆずを収穫する作業は、単純に楽しかったです。

畑仕事だと、泥まみれになって、抵抗がある人もいるかと思いますが、ゆず農園はいい香りが漂っていて、作業しながら癒されました。

ゆずの木には、思ったより大きな棘があって、特に高齢者の方には重労働なのだと思います。

高いところの作業も多く、若い世代の担い手が必要だと思いました。



ゆず農家が天職かと思うくらい黙々と作業しておりました。ゆずの木を丸裸にするのを目標に頑張りました！



お世話になった農家の方。傷をつけずにゆずを収穫する方法等をご教示いただきました。本当に良くしていただきました。



▶ゆず選果・磨き

黒い斑点の個数で、級を決めていきます。
斑点があっても味は変わらず美味しい。



ゆずには赤ダニと呼ばれる赤い粉のようなものがついてしまうことがあり、それを一生懸命磨いて取っています。

B級品のものでも、味は美味しいし、香りはしっかりあるのにも関わらず、ランクが下がるのはもったいないと思う場面もありました。

同時に、自分がお買い物をする際には、多少形が悪いものであっても手にとり、少しでもロスを減らすことに貢献出来たらと思います。

赤ダニを磨く作業は、単純作業ではありますが、非常に時間がかかるし、ゆず農業には思った以上に人手が必要なのだと感じました。



▶仕分け・袋詰め・メッセージ作成



自分たちの手で収穫し、思いを込めたゆずが、お客さんに美味しく食べてもらえたらいいなと感じました。
実際の生産者さんの思いも書いてもらえ良かったのではないかと思います。



▶「KURADASHI」にてゆずの販売



地域限定

高知県 北川村産「B級品ゆず」サイズ無選別 約3kg



高知県 北川村産「B級品ゆず」サイズ無選別 約3kg

🌸 メーカー協賛価格 2,419円(税込)

1kgあたり806円(参考価格2,419円)

🕒 販売期限 2021/11/30 23:59 まで

🤝 支援金額 120円

支援先: クラダシ基金
※メーカー協賛価格に含まれます

※ご購入後のキャンセルは原則お受けできません。(キャンセル及び返品・交換についてはこちら)

※商品情報(内容量・原材料・原産国など)は、メーカーの都合等により変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

※12月2日～6日に出荷予定です。収穫状況によりずれ込む場合がございます。

※ご家庭用です。ゆずの表面に傷や凹凸があるものがございます。

※様々なサイズのゆずが混ざっている場合がありますが、ゆず自体の品質には影響がございませんので、ご了承ください。

※冷蔵室・冷暗所で保管し、到着後なるべくお早めにお召し上がりください。

※北海道・沖縄県・離島は配送地域対象外です。

※代引き不可商品です。

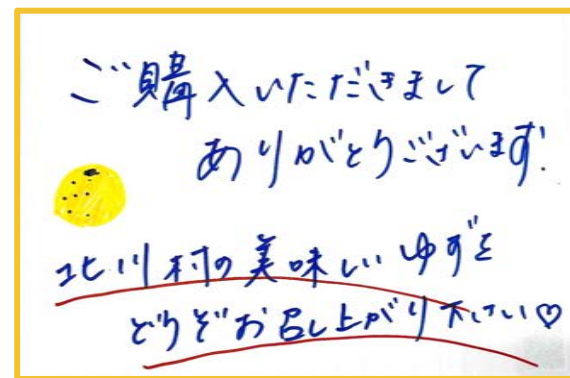
※ヤマト運輸でお届けいたします。

SOLD OUT



社会貢献型ショッピングサイト
「KURADASHI」にて
ゆずを販売しました。

一つ一つの商品に、参加学生による
手書きのメッセージを付け、ご購入いただいた方に感謝の気持ちをお伝えしました。



#クラダシチャレンジ in 高知県北川村

▶意見交換会・北川中学校との交流授業

村長をはじめとした北川村役場の方々と、
北川村の課題や魅力について、意見交換を行いました。

村長との交流会では、HPに載っていないことを教えていただき、貴重な機会になりました。
自分たちが思っていた以上に施策が豊富で驚きました。

自然豊かな環境で、手厚く育てられた中学生は、擦れておらず、純粋な子達ばかりでした。それでいて、高度なプレゼンを披露してくれて非常に学びの多い時間となりました。



北川中学校2年生の皆さんと。
一緒にゆず収穫をした他、皆さんが総合の時間で取り組んでいるプロジェクトについて丁寧にプレゼンしてくださいました。



▶観光

@いごっそラーメン
いつも行列ができてい
る大人気店。大盛で
食べ応え満載でした。



@モネの庭
本家フランス公認なのだそう。
丁度紅葉が綺麗でした。
お花が咲き誇る季節にも
行ってみたい...

@桂浜
車を走らせ桂浜へ。
海も夕日も星も綺麗。



▶北川村で頂いたお料理



ジビエ料理

ゆず農園の方が仕留め、捌いた鹿やイノシシたちをいただきました。新鮮だからか、臭みが皆無！



鰹のたたき

分厚く切るのが高知流なのだそう。

毎日作っていただいたお料理が本当に美味しかったです。北川村は、山にも海にも近いので、山で捕れる鹿やイノシシのジビエ料理から、近海でとれる鮮魚まで、本当に沢山のごちそうを頂きました。そして、なんといってもゆずを使ったお料理が絶品でした。ゆずポン酢はもちろん、ゆずの果汁でできたお酢を混ぜた酢飯も本当に美味しく、毎日のごはんが楽しみでした！



SNS発信について



“もったいない”を価値へ



※参加者のクラチャレに関する SNS投稿の一例



#クラダシチャレンジ in 高知県北川村



#4. 参加者の声



貴重な体験から得たもの

普段”農業”に馴染みのない私にとってとても貴重な体験ができ、沢山考えさせられた6日間でした。

農家さんの高齢化、人手不足の問題や傷などによって出荷できないゆずが多いなど様々な現状を目の当たりにし、自分自身でもこの事を機に考え続けていかなければいけないと思いました。

また、実際に農家体験をしてからこそわかる「生産者さんの想いと同時に私達が食べられているありがたさ」というものを改めて感じることもできました。

北川村の方々はとても温かく、自然も豊かで星空も綺麗など何もかもが初めて経験するようなことばかりで凄く新鮮でした。

クラチャレに参加したことをきっかけに、日本におけるフードロス問題について深く考え直し新たに行動していきたいです。



【長崎外国語大学3年 上原桃香】



これからの糧になる経験

おそらくクラダシチャレンジに参加していなければ北川村へ、もしかしたら高知県にも行くことはなかったかもしれないので、貴重な経験をさせていただくことができ幸せだったと改めて思います。地方創生に興味があり、ファームステイという形で地方と関わってきましたが、酪農や畑作農家さんへ赴くことが多く、果樹園でのお手伝いは今回が初めてだったため、高いところに実っている柚子を梯子を登って収穫しなくてはならないこと、またそれを実際に体験することで梯子の上はかなり不安定で危険であることを知り、果樹園こそ若者の力が必要であると感じました。

そして、これまでは農業の視点から地方を見てきたことしかなく、教育という視点から実際に現地の中学生と触れ合い意見を交換して、ということも私にとっては非常に貴重で刺激的でした。クラダシチャレンジで体験させていただいたことと感じたこと、得られた気持ちを忘れずに、春からの社会人生活にも活かしていけるといいです。ありがとうございました。



【名古屋淑徳大学4年 野中小夏】



美しさと難しさ

5泊6日の高知県でのクラダシチャレンジを通して、改めて地方創生の難しさを肌で感じました。

思った以上に体力を使うゆず収穫に、険しい山道、厳しい寒さ、初日は最後までやり遂げられるか不安な部分もありましたが、北川村の方の温かさに触れる中で、不安も段々と解消されていきました。

特に最終日に見た、海面をえんじ色に照らす夕焼けの美しさは忘れられません。私は実際に北川村に足を運んだからこそ、その地域（村）の良さや、問題点を知ることができたと感じます。

また、私は大学でも、地方創生について学んでいるので、今後の研究や活動などに活かしていきたいと思います。



#4. 参加者の声 ④

守っていききたいもの

北川村に訪れて、実際にゆず収穫をさせていただく過程で、フードロスの実状や地域の高齢化問題を実見することができたのは、私にとって非常に意味のあることでした。

大学でフードロスについて学び、各国の政策をあれこれ調べているだけでは分からないことが沢山あります。形が悪かったり、黒い斑点が多かったりするだけで価値が下がるものが多いことに参加者一同驚き、もったいないと感じた一方で、いち消費者としてはどうしても綺麗な作物を求めてしまう葛藤を覚えました。実際に農業を体験してみて、ゆずを味わってみて、形が悪くとも味は変わらず美味しいのだから、必要以上の綺麗さを求める慣習がなくなると良いと感じると共に、微力ながらも、自身の行動を改善することで、よりロスの少ない世の中になっていけばと願います。

また、この期間で地方創生について深く考えさせられました。地元の中학생や役場の方と交流し、この人達の住む場所が存続の危機にあることに胸を痛めました。純粋無垢な生徒たち、満点の星空、漂うゆずの香りを守るためにも、北川村を含む、日本全国にある数多くの素敵な地域をどう守り、どう良くしていけるかについて、この活動に参加したからにはしっかり考え、クラチャレの学び、大学での学びを未来に還元していきたいです。



【早稲田大学3年 松林梨世】



#4. 参加者の声 ⑤

一期一会

6日間とは思えない数の人との出会いがありました。
一緒に行動を共にする大学生 6人のみならず、出会う人全てが初めてでした。

そんな不安な状況の中でも、北川村の人たちや周りの人みんながとてもいい人で、日が経てば経つほど居心地がよくなったのが印象にあります。

地方創生や、フードロスについて考える機会をいただきありがとうございました。6日間で貴重な経験を得ることができました。



#4. 参加者の声 ⑥

2度とない経験

今回の北川村で過ごした6日間は今まで経験したこともないことばかりでとても新鮮でした。

宿や食事といった生活のあらゆる場面で北川村を感じることができました。

また北川村で暮らしを送っておられる方々のお話を聞かせていただき、地方に対する手触り感を得ることができたことは収穫でした。

最後に一緒に訪れた班員の方は自身の周りにはあまりいないタイプの方が多く、すごく楽しませてもらえました。ありがとうございました！



#5. クラダシチャレンジ 家族版



第11回社会貢献型インターンシップ 「クラダシチャレンジ」in 高知県北川村 (家族版)

■活動内容:①高知県北川村の農家にてゆずの収穫

②販売用ゆずの選別・箱詰め作業

③SNS等を利用した地方の魅力発信

■開催期間:2021年11月20日～11月23日

■参加人数:8名(2家族)

■実施企業:株式会社クラダシ (クラダシ基金にて運営)



ゆず収穫の様子

小さなお子様にもご参加いただきました。
お母さまよりも慣れた手つきで、リズムカルに
収穫作業をしていたようです。

箱いっぱいを持ち帰ったゆずは、ジュースに
したり酢飯にしたりして味わっておられました。
ゆずの保湿成分でお肌が潤ったと喜んでい
ただけました。



田舎寿司体験

高知県でとれたゆずの果汁に塩を加えて
「ゆず酢」にしたものを使った酢飯です。
ネタにはみょうがや卵焼きなどが使われ、非常に
さっぱりしたお味です。



農家さんとの交流

お世話になったゆず農家の田所さんと、休憩中に沢山のお話をされたようです。

皆さま口を揃えて、北川村の人に魅力を感じた、この人たちに会いに、また訪れたいとおっしゃっています。



スマート農業の見学

北川村は農業先進国として知られています。

収穫作業をロボットアームで行う実験をしていたり、ドローンを使った農薬散布を実施してみたり、様々な取り組みがなされています。

実際にロボットがゆずを収穫している様子を見て、大興奮の皆さまでした！



参加者の声

ここ高知県北川村の方々は今の世代に出来上がらなくても、次の世代が楽になれば良い、ぐらゐの気構えで長い目で努力を続けていらっしやいます。

まさに子孫に美田を残すとはこのことでしょう。農業は世代を引き継ぎながら将来を見据えて長い目で行わねばなりません。今だけの事を考えて山を丸坊主にしてしまったり除草剤だの農薬だので土壌を汚してしまうのも将来に根を残すことになります。

この村の方々はそのような長い目を持って将来を見据えていらっしやるなあと本当に感銘を受けました。



参加者の声



一番印象に残ったのは、人の温かさでした。
何年も前からの親友のように接してくれて、初対面の壁なんて、最初からなかったようでした。
高知県は遠いし、今回行ったら、もう行くことは無いだろうと思っていましたが、一度訪れた今は、また行きたいと思っています。

毎日いただく食事というのはどのような生産者の方々がどのようなところで、どのようにして作ってくださっているのか、消費者として見てみたいという気持ちはとても大きいし、大事なことだと思います。今回体験できて本当に面白かったし感慨深かったです。



#6. 事後報告会



第11回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ in 高知県北川村」の学生版・家族版参加者が合同で、事後報告会を行いました。

■日時: 2021年12月27日 17:00-18:00

■場所: オンライン配信

■参加者: 学生版 参加学生
家族版 参加者
北川村役場の方々
クラダシ社員



『第11回クラチャレin高知県北川村』
参加者事後報告会



2021.12.27



事後報告会の開催目的：参加した学生が、現地の方との交流・収穫支援の活動を通して見出した 課題への解決策を提案する

学生が見出した課題：若い世代の人口流出による、村の産業の衰退（担い手不足）

課題の選定理由：

①北川村の目標が人口 1000人維持

→現状は生活インフラの整備不足などが原因で人口が流出しているのでは

②北川村の魅力をもっと外部に伝えた方がいいと感じた

→環境産業が弱いことで、知名度が低く、魅力が伝わりきれていないのでは



北川村の少子高齢化に対して学生が提案した解決策:

以下の3つのフェーズに分けて、対策をおこなうことで

北川村への移住者・北川村のゆずを取り扱う人口が増える＝北川村の産業が発展する

①環境整備(外部の人を呼び込める環境を整える)

- a. 県内の大学と連携して古民家や空き家を DIYするプログラム
- b. 地元企業とタイアップして町づくりの設計をする

②PR

- a. ゆずのLIVEを北川村で開催 (ゆずの名産地北川村＝北川悠仁さん)
- b. 全国各地の主要駅にてマルシェを開催(北川村の生のゆずを販売)

③北川村留学

- a. 北川村の質の高い教育を体験してもらうべく、他県の学生を北川村の学校に派遣
- b. 北川村を移住の拠点・農業支援の拠点に



#7. 総括



社名

株式会社クラダシ

設立

2014年7月

所在地

東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

代表者

代表取締役社長CEO 関藤 竜也

事業内容

社会貢献型ショッピングサイト「KURADHASHI」の運営

URL

<https://www.kuradashi.jp/> (ショッピングサイト)

<https://corp.kuradashi.jp/> (会社HP)

株式会社クラダシは、北川村以外の自治体でも支援を引き続き行って参ります。

ご質問・ご相談等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。